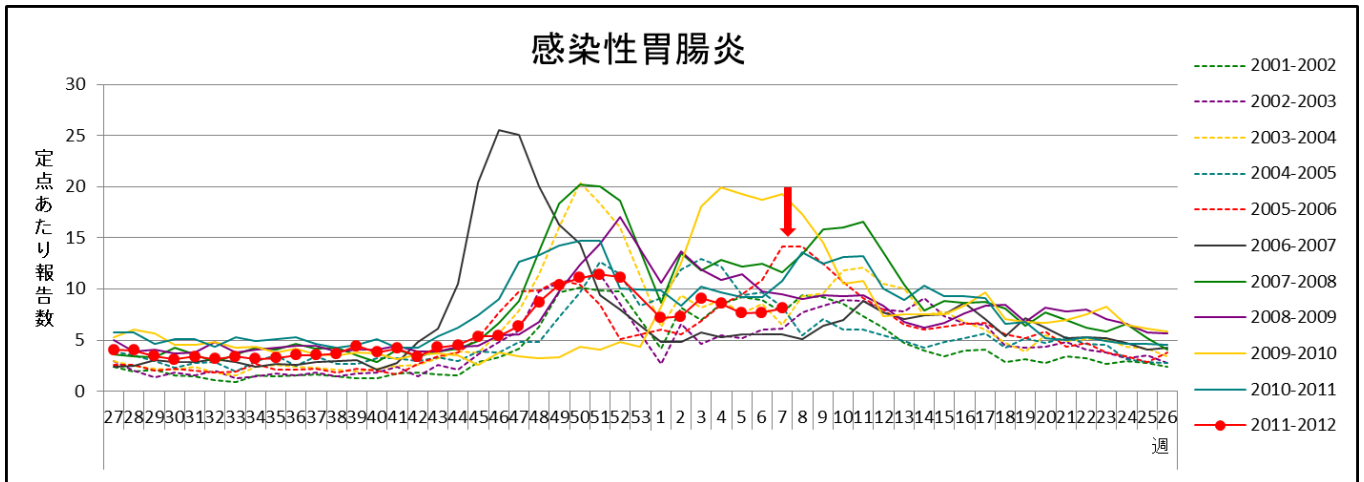


感染性胃腸炎情報 第7週 2012年2月13日～2月19日

- 岡山県内の患者報告数は 438 名（ 定点あたり 8.11 人 ）で、わずかに増加しました。
- 感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市・倉敷市・早島町・津山市の計4 施設でありました。
- 【第 8 週 速報】感染性胃腸炎による学級閉鎖が、高梁市の小学校でありました。（2月23日）



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、わずかに増加しました（54 定点医療機関 定点あたり 7.69 → 8.11 人）。地域別では、岡山市（10.86 人）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は0～4歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

第7週、感染性胃腸炎による臨時休業が4施設でありました。全国ではノロウイルスによる食中毒・集団感染事例も多数発生しています。『手洗いを励行する』『食品は加熱して食べる』など感染予防に努めましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

